

産業建設常任委員会委員長報告

(平成28年6月23日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、第1号議案、平成28年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、総務費では、一般財団法人自治総合センターの助成を受けて実施する防犯灯設置経費の増額補正。土木費では、国の集約都市形成支援事業（コンパクトシティ形成支援事業）を活用して、「立地適正化計画」の策定に向けて基礎調査業務等を行う経費、また、市景観条例に基づき、景観まちづくり団体の活動に助成を行う、景観形成事業経費の増額補正であります。

審査の中では、立地適正化計画の策定に係り、都市機能を集積するコンパクトシティの考え方に対して、周辺地域におけるまちづくりの課題を踏まえて慎重に取り組むべきとの意見等が出されましたが、審査の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第7号議案、地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正は、建築基準法の規定に基づき、適正な都市機能と健全な都市環境を確保するため、篠町篠向谷地区地区整備計画区域内及び中矢田町才ノ溝地区地区整備計画区域内における建築物の制限に関し、必要な事項を定めるものであり、別段異論なく、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

一般会計補正予算

全員賛成

視察レポート

(5月17日～19日)

(二財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して防犯灯(大井町・13灯)を設置(220万円)

「質疑」

問 今回、大井町に設置することを決定した理由は。危険度などを考慮した中で優先順位をつけているのか。

答 コミュニティ助成事業の対象には、公共施設につながる道路などの要件があり、毎年、各自治会からの要望により順次実施している。大井町では要件に合致する箇所が多かったため今回実施を決定した。防犯・街路灯の整備には、本事業の活用のほか、必要な予算を確保し、優先度をつけて実施している。

広島県福山市

自転車利用促進プラン

福岡県糸島市

農力を育む基本条

例・基本計画、J A系

鳥産直市場「伊都菜彩」

山口県周南市

周南コンベンション

シティ推進事業

福山市では、自転車

通行空間の整備やマナ

ー啓発のほか、自転車

マップやレンタサイク

ルなど自転車の利用促

進に向けたソフト事業

も展開されており、自

転車を取り巻く様々な

課題の解消に向けた総

合的な取り組みとして、

市施策において自転車

利用促進プランの高い

位置付けが窺えました。

糸島市では、農力を

育む基本条例の効果と

して、市民や大学など

とも連携して地域農業

活性化に取り生まれ、

糸島ブランドの定着、

また、J A「伊都菜彩」

による観光入込客増な

ど、まちづくりへの

様々な波及があること

を学びました。

周南市では「コンベ

ンションシティ」とし

て、市内既存施設を有

効活用して、各種大会

や会議などを積極的に

市外から誘致し、滞在

型観光につなぐ取り組

みを学びました。

今後、本市施策につ

ながるよう、委員会活

動に生かしていきます。

産業建設常任委員会委員長

小島 義秀